



■清掃活動伊良皆公民館だより6月号に掲載！！



読谷高校周辺道路及び伊良皆児童公園・公民館前の通りなどのボランティア清掃活動と、毎週木曜日女子ソフトボール部の朝の清掃活動が紹介されています。

公民館館長さんからお礼の電話を頂きました。「読高生が地域のために積極的に活動してくれて、住民の皆さんも大変喜んでます。」という内容でした。地域から愛されるための一歩です。また、多くの皆さんのボランティア清掃活動への参加を期待しています。それから、『今年の夏も勉強教えて下さい！』と伊良皆公民館の呉屋館長さんから小学生学習指導ボランティアの募集があります。積極的に応募してください。「教えることは教わること」です。自分自身の勉強にもなります。

■教育実習生のみなさんからの感想orメッセージ



●知名美咲(琉球大学：美術)

私は大学に進学できましたが、ずっと進路に悩んでいました。こんな私が大学に進学できたのは、先生の助けや自分の意志の強さがどれくらいあるのかということが試されていて、その志望校に向けてたくさん努力を続けたからだと思っています。不可能はありません！！まず、一生懸命やってみてから決めてみてください！！

●松田かれん(環太平洋大学：体育学科)

教育実習を終えて、改めて教師の良さだったり、教師の大変さというのを実感することができました。高校生は色々なことに挑戦できるので、夢に向かって一生懸命頑張ってください。

●喜友名泰人(岐阜大学：スポーツ経営学科)

とても素直で明るく、一所懸命な読高生。これはずっと続けてほしいです。ですがもっと、自分の為に一所懸命になってほしいなと思います。勉強も、部活も、進路も、より上を目指し、頑張ってください。その為には、しっかり目標を作ることです。小さな目標でも大きな目標でもいいので、それに向かって頑張ってください。

●當眞愛(高知大学：国際社会コミュニケーション学科)

2週間という短い期間でしたが、皆さんと関わってきて、とても明るく何事にも一生懸命に取り組む姿に私も刺激を受けました。読谷高校生はダイヤモンドの原石なので、これからも輝くために磨き続けてください！2週間、皆さんと学べて楽しかったです。ありがとうございました。

●比嘉大道(朝日大学：法学科)

高校生は1番青春だから、今しかできないこと、勉強、遊び、恋い、全力で楽しんで下さい。何事にも自分が行動しないかぎり、変化はうまれません。進路にしても部活にしても、自分から行動することによって様々な情報や知識が増えます。全力で高校生活を楽しんでください。

★本の紹介コーナー★

題名：銃・病原菌・鉄
著者：ジャレド・ダイヤモンド
(訳：倉骨彰)



「あなたがた白人は、たくさんものを発達させてニューギニアに持ち込んだが、私たちニューギニア人には自分たちのものといえるものがほとんどない。それはなぜだろうか？」と、著者はニューギニア人の友人ヤリから質問を受けた。格差問題である。なぜ世界各地域で格差があるのだろうか？(直接の原因は、西暦1500年時点における技術や政治構造の各大陸間の格差である。鋼鉄製の武器を持った帝国は、石器や木器で戦う部族を侵略し、征服して、滅ぼすことができたからである)。ではなぜ、世界は1500年の時点でそうだったのか。人類は数万年前にアフリカを出て一部はヨーロッパへ、一部はアジアからベーリング海峡を渡り1万3000年前頃には南北アメリカ大陸まで移動した。その時点では各大陸に分散していた人類はみな狩猟採集生活をしていたという。そこで本書は、1万3000年前頃を格差がなかったスタートラインとし、様々な分野の知識を動員してヤリの質問への答えを追究していくのである。その様々な分野が凄い。作物やその野生祖先種を研究できる遺伝学、分子生物学、生物地理学。家畜とその野生祖先種は行動生態学。人間や動物の病原菌を研究する分子生物学、疫学、遺伝学。言語学、文化人類学。技術史、文字史、政治史などの歴史研究など。(このテーマをあつかう著者は、前記の多彩な分野の知見を学際的に統合できるように、それぞれの専門に精通しなければならない。)とあるが著者ジャレド・ダイヤモンド自身がまさにそうなのである。圧倒的な知識と鋭い分析力には驚きと感動を覚える。

〈人類史とは、その大部分において、農耕民として力を得た「持てるもの」が、その力を「持たざるもの」や、その力を後追的に得たものたちに対して展開してきた不平等な争いの歴史であった。〉狩猟採集民は、日々の食料を得るだけで精一杯で食料の蓄積ができない。農耕民は穀物などを生産して余った食料の保存ができ、その余分な食料でより多くの人口と、軍人、政治家、発明家、職人など専門職に従事する人を養うことができる。その歴史の積み重ねが力となり「持てるもの」と「持たざるもの」にわたったのだ。食料生産が可能な地域であるか否か。すなわち、作物化することができる野生植物が豊富にあり、家畜化に適している動物がいることが条件となるが、さらに筆者は、大陸の形にも重要な要因があるという。南北より東西に長い大陸であるということ。結局、動植物の栽培化や家畜化の可能性と東西に長い大陸であることが、ヤリの質問に対する『究極の原因』であり答えとしている。ユーラシア大陸はそれらの条件を満たしているのだ。大陸が東西に長いということは、同じ経度であればほぼ似たような気候であるからということ。く気候のちがいが農作物の育成環境や伝播の容易さを決定する重要な要因だから」としている。面白い。大陸の形も大きく影響していたのである。

■7月の行事

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1日(日)第1回英検(二次) | 18日(水)統一LHR(学園祭) |
| 3日(火)読高メッセージ学級予選 | 学園祭実行委員会① |
| 4日(水)リーダー研修① | 高校生代表者会議 |
| 5日(木)リーダー研修② | ちゅらマナーフォーラム |
| 6日(金)1年チャレンジカップ | 第1回学校保健委員会 |
| (~18日) | 19日(木)読高メッセージ34校時 |
| 9日(月)交通安全講話12校時 | 20日(金)1学期終業式・伝達表彰 |
| 12日(木)第2回追試① | 全体清掃・部活動清掃 |
| 13日(金)第2回追試② | 21日(土)河合マーク模試① |
| 15日(日)PTAスポーツ大会 | 22日(日)河合マーク模試② |
| | 23日(月)夏期講座 |